

令和7年度 指導・評価計画 美術2学年

124世田谷区立砦中学校

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元・章・節	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	鑑賞 長谷川等伯「古木猿猴図」	2	日本画の技法に触れ、他の画材にはない色彩の美しさや技法を学ぶことができる。	画家の作品の美しさを感じ、作品を通して彼の人生について考えを深めることができる。	画家の人生に触れることで、描く意味と生きることの意味を深く感じ取ろうとしている。
4 5 ～6	手、目を描く 空き缶を描く	3 6	形をしっかりととらえ、質感まで描きこむことができる。鉛筆や消しゴム、ポスターカラー等の効果的な使い方を身に付け、意図に応じて工夫して表現することができる。	鉛筆で正確に形を取り、手や缶の構造を考え細部まで描きこみ、質感や立体感を描こうとしている。また、ポスターカラー絵の具を使用し、デッサンに合わせた背景を描くことができる。	自分の描いたモチーフに表情を持たせ、形をとらえることに関心を持ち、自身のイメージを表現しようとしている。
7～ 10	スクラッチアート	6	材料や用具の効果的な使用方法を考え、スクラッチによってモチーフを美しく表現する方法を考えることができる。	スクラッチに適したモチーフを考え、下絵を準備し、計画的に制作することができる。	課題に興味を持ち、適したモチーフを選び、表現に意欲的に取り組もうとしている。
10	鑑賞	1	芸術家の作品を鑑賞し、その背景に興味を持ち、十分に理解することができる。	造形的な良さや美しさを理解し、鑑賞の楽しさを味わうことができる。	芸術家の作品表現やその背景に興味を持ち、十分に理解しようとしている。
10 ～11	鳥獣戯画を鑑賞し、描く	4	作品の時代背景や技法等に興味を持ち、日本の美術作品の良さや美しさを感じ取ろうとすることができる。	水墨画の良さや美しさを理解し、水墨の道具を使って自分なりに表現することができる。	作品の時代背景に興味を持ち、美意識を高め、味方や感じ方を深めようとしている。
11	遠近法で描く・シュルレアリスム ・一点透視図法 ・二点透視図法	5	遠近法の基本を理解し、その技法を生かして立体的な図を表現することができる。 シュルレアリスムの作品を鑑賞し、構図やモチーフの組み合わせやイメージなどで全体をとらえ、味わうことができる。	遠近法の基本を理解し、それを生かして立体的で美しい図を構想し表現することができる。 空想や心に広がる世界を現した画家の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて考えを深めている。	遠近法やそれを用いて描かれたシュルレアリスムの作品に興味を持ち、自身の制作や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
12 ～ 3	木彫	8	材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら制作することができる。	使用する際の機能や造形的な美しさなどを、素材や形などの効果を生かして総合的に考え、表現の構想を練ることができる。	木の魅力や特徴に興味を持ち、用途や機能・素材の特徴を生かして制作しようとしている。
主たる評価材料			授業観察・作品・テスト・ワークシート	授業観察・作品・テスト・ワークシート	授業観察・作品・テスト・ワークシート